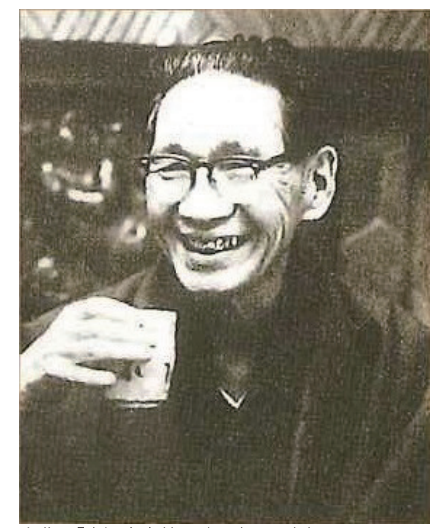




よねかわ まさお
米川 正夫氏
(1891年～1965年)



出典：「高梁市市勢要覧」（2002年）

米川正夫は高梁市間之町で質屋を家業とする家の四男として生まれました。高梁中学校時代に「文章世界」に投稿し、内田百

間らと親交を深めています。岡山県の同郷ということもあり、内田百間とは終身の親交を続け、同じ趣味である箏曲を通じ、「桑原会」を結成。演奏会も開催しています。18歳の時、東京外国語学校（現東京外国語大学）ロシア語本科に進学しました。在学中に「露西亜文学」を創刊しています。

作品は、正夫が翻訳しており、ロシア文学翻訳では質量ともに最も評価されています。「ドストエフスキイ全集」「トルストイ全集」など多くの翻訳を手がけたほか、「ロシア文学史」「トルストイの文学」「ドストエフスキイ研究」など多くの著作も残しました。正夫の妹には人間国宝で日本芸術院会員、文化功労者である初代米川文字がいます。父の先妻の娘である貞が箏曲家であったこともあり、多くの兄妹たちが箏曲家であり、正夫も琴以外に三絃、尺八を嗜みました。

今号の表紙

高梁市立高梁中学校



発表を聞いている感想

高梁中学校の体育館で「高梁未来学」（3年生）の最終発表会がありました。高梁未来学は地域を学習の場とし、地域と協働して地域の未来と自分の将来・生き方について考える学習です。地域貢献について28グループが発表を行いました。地域の課題解決についての発表も多くされていたこと、全校生徒の前での発表に緊張した姿が印象に残りました。

8年振りに高梁市議会議員選挙の投票が行われ、市民の皆様により新しい議員が選ばれました。議会だよりの編集に携わっていたメンバーも次号から新しくなります。年4回の定例会後約一か月間、メンバーは議会だよりの編集に当たります。市民からは見えない議員の活動についても言い過ぎではありません。一期目から議会だよりの編集に携わらせていただき、皆様が見やすくて理解しやすい議会だよりに目指して編集作業を行ってまいりました。次回からどのようなメンバーになるかわかりませんが、一人でも多くの皆様に読んでいただける議会だよりに楽しみにしててください。（森 和之）

12月の定例会スケジュール

11/29	金	本会議（議案の上程）
12/ 5	木	本会議（一般質問）
6	金	本会議（一般質問）
9	月	本会議（一般質問）
11	水	本会議（議案質疑）
12	木	委員会
13	金	委員会
16	月	（委員会予備日）
19	木	本会議（採決）

※12月定例会への請願・陳情の締め切りは11月21日(木)までです。
※日程は変更となる場合があります。正式な日程は決まり次第、ホームページでお知らせいたします。

政治家の寄付は禁止！
有権者が求めることも
禁止されています！

公職選挙法により、市議会議員が選挙区内でお中元やお歳暮、ご祝儀を出すことは禁止されています。市民から求めることも禁止です。



編集

- 議会広報公聴特別委員会
委員長 森 和之
副委員長 金尾 恭士
委員 石部 誠
委員 森上 昌生
委員 伊藤 泰樹
委員 新倉 淳
委員 平松 久幸



高梁市議会だより

第60号
2024年11月

9月定例会 令和5年度決算審査 執行部の答弁に問題あり 高梁市議会初の再審査に至る



高梁市議会だより
2024 11
「意見は」こちらまで ■高梁市議会事務局 高梁市松原通2043 ☎0866-21-0277
発行 高梁市議会





新消防庁舎
高梁こども園
有漢学園

令和5年度決算審査 工事請負変更契約議案を審議

令和6年第4回高梁市定例会では、令和5年度の決算審査をはじめとした議案など26件と請願2件が上程されました。そのうち、総務文教委員会では、当初大型事業の工事請負変更契約の締結についての5議案が否決されましたが、審査の内容に問題があったとして再審査が行われ、原案のとおり可決されました。委員会での再審査は高梁市議会では初めてのことです。

ラ・フォーレ吹屋と
高梁国際ホテルの今後

産業経済委員会では認定3件、議案2件の計5件を審査しました。

認定第1号「令和5年度高梁市各会計歳入歳出決算認定」では、観光施設の指定管理や事業委託についての質疑が行われました。ラ・フォーレ吹屋の施設・物品等の活用や高梁国際ホテルにおける今後の方針の十分な情報発信に努めてもらうとともに、地域滞在型アドバイザー派遣事業委託では、観光組織の強化に向け、派遣される人材の選任は慎重に行ってもらいたいとの意見がありました。認定第1号については、認定すべきものと全員一致で決しました。

水道事業経営の健全化 市内観光施設について議論

産業経済委員会

認定第3号「令和5年度高梁市水道事業特別会計決算認定」について、委員からは、水道事業経営の重要な指数となる有収率が悪化し、漏水量が顕著となっている報告がある中で、来年度から導入される人工衛星を活用した新しい漏水調査の手法により、数値目標をしっかりと定めて、有収率の向上を図ってほしいという意見がありました。認定第3号についても、認定すべきものと全員一致で決しました。

その他の議案についても、本会議での質疑も踏まえ、細部にわたる質疑がなされた結果、認定第4号については認定すべきものと、議案第78号および議案第81号についても、全員一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。



高梁市議会議員選挙により 16名の新議員が決定しました



こばやし しげき
小林 重樹
(6期)



くらの つぎお
倉野 嗣雄
(7期)



みやた きみひと
宮田 公人
(8期)



かわかみ ひろし
川上 博司
(8期)



かなお やすし
金尾 恭士
(2期)



いとう やすき
伊藤 泰樹
(3期)



もり かずゆき
森 和之
(3期)



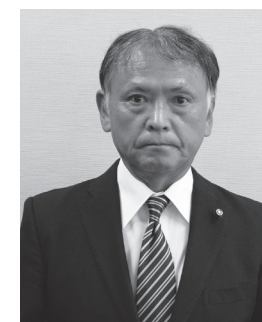
みやた よしお
宮田 好夫
(5期)



まつおか たかお
松岡 隆雄
(1期)



まえの ひろゆき
前野 洋行
(1期)



ふじおか よしゆき
藤岡 善行
(1期)



ひらまつ ひろゆき
平松 久幸
(2期)



ながた のぶひこ
長田 伸彦
(1期)



おぐろ ゆかり
小黒 ゆかり
(1期)



かわかみ まさみ
川上 雅美
(1期)



えのき たかひろ
榎 隆宏
(1期)

※当選回数は、合併前の当選回数を通算しています。 ※期別、年齢の順に並んでいます。

市民生活委員会

現行の健康保険証存続を 求める請願で意見が分かれる

市民生活委員会では、認定2件、議案6件および請願1件の計9件を審査しました。

認定2件のうち、認定第1号「令和5年度高梁市各会計歳入歳出決算認定」および認定第2号「令和5年度高梁市国民健康保険成羽病院事業会計決算認定」については、慎重な審査の結果、全員一致で認定すべきものと決しました。

議案第63号「高梁市ひとり親家庭等医療費給付に関する条例及び高梁市中心障害者医療費給付条例の一部を改正する条例」、第77号から第80号（岡山県後期高齢者医療広域連合規約の変更について「他」まで、ならびに第82号「高梁市国民健康保険条例の一部を

改正する条例」の6件は、いずれも全員一致で可決すべきものと決しました。

請願第3号「現行の健康保険証を存続するよう国に意見書の提出を求める請願」に関しては、委員から「この12月をもって、現行の健康保険証を廃止することについては時期早尚」との意見が出される一方で、「12月で新規発行は終了するが、その時点で有効な保険証は、最長1年間使用可能であり、マイナ保険証のない者は資格確認証の発行による対応がとられることから不採択とすべき」との意見が出され、採決の結果、賛成少数で不採択とすべきものと決しました。



総務文教委員会

新消防庁舎等の変更契約に 関する議案で激論

総務文教委員会の審査では、合併後の高梁市では初めて一部の議案について再審査が行われました。対象となったのは、新消防庁舎、有漢学園および高梁こども園の建設に関する工事請負変更契約の締結についての8議案です。

1回目の審査では 5議案が否決

現在進められている前述の大型事業について、工事変更または工期延長を行う8議案が提案され、総務文教委員会に付託されました。

1回目の委員会での審査では、それぞれの工事について変更箇所の説明と、変更に至った経緯について説明がありまし

た。これらの工事変更は、8月6日の全員協議会や本会議の議案質疑でも多くの質問が寄せられています。

しかし、委員会での質疑に対して、担当部署からの答弁は、十分に納得できるものであるとは言いがたいものでした。さらに、原則的には議会での議決を経た上で工事を進めることになっているにもかかわらず、議案が提案された時点ですでに着手または完了している工事箇所があることが判明し、議会軽視ではないかという意見が出るなど、変更契約の内容について質問が集中しました。

採決の結果、新消防庁舎の工事変更に関する2議案は全員一致で否決すべきものとさ

執行部の答弁に問題あり 高梁市議会初の再審査に至る

れ、有漢学園および高梁こども園に関する3議案は賛成1、反対3で否決すべきものと決しました。工事変更に未着手、または工期延長のみの3議案は全員一致で可決されました。

議会運営委員会でも 再審査を決定

議会では、委員会に付託している案件について、委員会での調査や審査が不十分な場合などに、もう一度委員会でも審査をやり直すことが認められています。今回は、十分な資料提供が受けられていなかったことや、発言の真意が不明瞭だったことから、9月4日に議会運営委員会を開催しました。

対応を議論し、追加の資料提出を求めた上で再審査を開催することになりました。

2名退席も、追加資料を 基に再審査で可決

2回目の委員会での再審査では、会議冒頭、再審査の必要性について異議を唱える意見や、2回目の委員会を開催するに当たっての調整方法に疑義を唱える意見があり、2名の委員が再審査を拒否して退席しました。その後、残った委員に諮って、再審査をすることに決しました。

再審査においては、工事の各種手続とスケジュールが追加資料として配付され、補足説

明がありました。1回目の審査において審査の中心であった議案第69号では、手すりの必要性や防火区画の設計漏れ、その責任の所在など詳細にわたって議論されました。

委員からは、「お金をかけずに良いものを作ること」、「以前の教訓を生かして緻密に事業を遂行すること」などを求める意見があり、採決の結果、全員一致で可決すべきものと決しました。他の7議案についても、再審査のうえで全員一致で可決すべきものと決しました。



工期短縮のために
埋め込まれた地下タンク



新消防庁舎1階と2階間の
防火区画



高梁市立有漢学園
開校に向けて工事が進行中

宮田 好夫 議員

全ての議案に対し委員長報告を了とする。決算認定につ

いては、自主財源が乏しい中山間地域の行政サービスはコストがかかり、各種補助金や起債頼りは致し方ない。経常収支比率は95%を超え、新たな事業に対応しにくい状況である。執行部には監査意見書にある、市民一人一人への支援を心から期待する。また工事請負契約の変更として、議会の承認が必要な新消防庁舎や高梁こども園などの追加工事が議案として提出された。そもそも当初の設計に盛り込むべきで、やむを得ない場合は該当委員会に対し丁寧な説明をするよう求めて賛成する。

請願第2号と第3号は採択すべき立場で討論を行う。請願第2号は、持続可能な学校の実現や、教職員の処遇改善や人の配置の財源確保のために採択を求める。請願第3号

小林 重樹 議員

全ての議案で委員長報告を了として討論する。しかし追加工事関連の議案については、議案質疑でも総務文教委員会でも非常に物議を醸し、理解をしがたい案件であった。これは執行部の説明や答弁が非常に欠けていたため起きた問題だと感じている。

再審査された総務文教委員会では、まず市長の謝罪があり、新消防庁舎、高梁こども園、有漢学園などの追加工事の状況や内容、予算についてしっかりと討議し、採択された。総務文教委員会の再審査そのものを批判する委員もいるが、その委員は退席している。委員長が行った再審査の手順には一切問題はないと考える。

しかし市長の職員への思いやりや、話し合いなどの会議が十分にできていなかったと思われ、執行部に対し反省を促すものである。

市民の多様な意見もあるが、

については、世論調査でも約7割の国民が不安を持ち、廃止や撤回を望んでいる。現行の保険証を存続するためにも採択を求める。

平松 久幸 議員

議案第70号に反対の立場で討論する。他議案と2つの請願には委員長報告を了とする。

議案第70号は高梁市新消防庁舎建設工事（電気設備工事）の追加工事である。工事金額の増額について、私からの議案質疑において、消防長から「接地抵抗値も規定内の数値が出ており、新たに工法を変え、すでに施工し完了している」との答弁があった。併せて副市長が「工事を進めて行く中、金額が大きいもの小さいものも含めて工程通りの工期がある。ただ、中間の段階で変更があるものをその都度議会で協議するわけにはいかず、全体の中で考えさせていただく」との説

明があった。この工事が完了しているかのような答弁は、議会軽視と感じる。これらを鑑み議案に反対する。

新消防庁舎、高梁こども園、有漢学園の建設は、厳しい工期や金額での請負。必要な工事であるため、円滑に進めるように努めてほしい。

石部 誠 議員

全ての議案に反対するものではないが、以下の議案について委員長報告を了とせず、討論する。

まず、議案のうち認定第1号は市の大型事業を推進している反面、市民サービスの低下が見られる。また、一部企業や団体などへの事業委託が優先的に予算組みされている問題が散見される。民間委託や指定管理者制度は、市の監視体制の弱体化や情報公開が欠落し、指定管理先では低賃金により地域経済を低迷させている。

国保財政では、基金の活用で国保税の減額は可能。吉備国際大学生の不納欠損が未解決であり反対する。議案第82号は、自由であるマイナンバーカードの取得に強制力が働いた

付託された総務文教委員会では、議会の議決前から工事が進められていたことが問題視され、5議案のうち2議案は全会一致で否決すべきものとされた。しかし異例なことに、総務文教委員長が再審査を主導し、開催されたことは残念

また委員会での説明責任を建築営繕室に押し付ける執行部のやり方を多くの職員も見ており、当たり前のことが当たり前のようにならなくては、高梁市の未来はないと考え、5議案に反対する。

金尾 恭士 議員

付託された総務文教委員会では、議会の議決前から工事が進められていたことが問題視され、5議案のうち2議案は全会一致で否決すべきものとされた。しかし異例なことに、総務文教委員長が再審査を主導し、開催されたことは残念

大型事業の追加工事の議案5件については、当初の総務文教委員会で、担当者から「追加工事は議会の議決が必要であり、その後に業者と契約が結ばれ、工事着工となる」ことを確認した。しかし議会の議決前から、工事着手されている事案が確認され、法令違反として5議案が総務文教委員会でも否決されたものである。

め反対する。

総務文教委員会は再審査を行ったが、本来は大きな瑕疵・大きな変更・情報の隠匿などが再審査の理由になる。しかし再審査の理由は「執行部の説明不足」とされた。とても認められる理由ではない。また市長や副市長が責任を取らず、担当者の謝罪での終わり方に問題を感じ反対する。

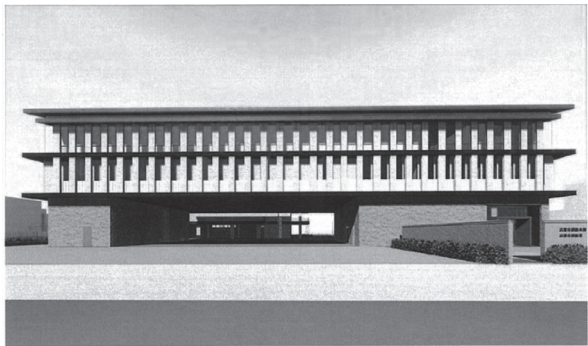
2件の請願については市民生活に重要な案件であり採択を求める。

9月定例会で賛否が分かれた議案の採決結果

○：賛成 ●：反対

		金尾	新倉	平松	伊藤	森上	森	三村	石部	宮田好	小林	川上修	倉野	川上博	宮田公	大月
認定第1号	令和5年度高梁市各会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第69号	工事請負変更契約の締結について（新消防庁舎）	●	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第70号	工事請負変更契約の締結について（新消防庁舎）	●	○	●	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第72号	工事請負変更契約の締結について（有漢学園）	●	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第73号	工事請負変更契約の締結について（有漢学園）	●	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第74号	工事請負変更契約の締結について（高梁こども園）	●	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第82号	高梁市国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
請願第2号	持続可能な学校の実現をめざす意見書採択の請願について	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	●	●
請願第3号	現行の健康保険証を存続するよう国に意見書の提出を求める請願	○	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●

※議長は採決には加わりません。 ※他の議案は全会一致で可決しました。

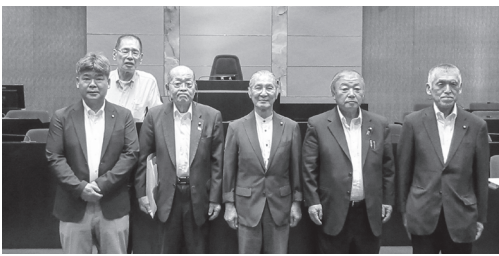


▲新消防庁舎完成予想図

であり、厳しく指摘する。そもそも委員会でも否決されたのであれば、議会のルールに基づき本会議に提案し、議決を受けるのが議会の常道である。

また委員会での説明責任を建築営繕室に押し付ける執行部のやり方を多くの職員も見ており、当たり前のことが当たり前のようにならなくては、高梁市の未来はないと考え、5議案に反対する。

議会ニュース



市民生活委員会 管外行政視察

市民生活委員会では、7月23日から24日まで、京都府京丹後市、綾部市への管外行政視察を実施しました。

京丹後市では「公共交通」について、視察を行いました。同市は人口減少や地理的条件から、人手不足で地元バスも路線維持に苦しんでおり、タクシー業界も運転手不足で地域から撤退する会社もあります。そのためAIオンデマンドモビリティ、住民で組織するささえ合い交通が始まっています。高梁市においても、地域の実情に応じた公共交通の施策に取



▲綾部市での視察

り組んでいくべきと感じました。

綾部市では「移住・定住の取り組み」について視察しました。全国に先駆けて移住希望者のワンストップ窓口「定住サポート総合窓口」を設置し、定住支援のスタッフが空き家バンクの紹介はもちろんのこと、自治会への加入説明や地域での



あいさつ回りへの同行など定住希望者に寄り添った取り組みを行っています。また将来を見据えて小学生を対象にふるさと教育ということで、市長自らが学校へ出向き綾部市の魅力について語り、郷土愛を育み将来的に綾部市の定住へつなげていく取り組みなどを実施しており、参考とすべき事例であると感じました。

産業経済委員会 管内行政視察

産業経済委員会では、7月25日、前回の弥高山公園などに続き、キャンプ場のある高梁



▲高梁自然公園キャンプ場のロッジを視察

自然公園、高梁美しい森の管内行政視察を行いました。今回の両施設共に管理状態は良いのですが、やはり施設の老朽化が見受けられました。キャンプ場の利用者については、コロナ禍で減少したとの説明がありました。キャンプブームの昨今、利用者の増加を望むならば施設の改修と併せ、利用客へのPRなどが必要だと感じました。

総務文教委員会 管内行政視察

総務文教委員会では、7月16日、来春開校される有漢学園の進捗状況を把握するために、有漢東小学校と建設中の有漢学園の視察を行いました。

有漢東小学校では、児童が取り組んでいる朝モジュール（百マス計算、音読など）を全年視察しました。委員からは徹底反復学習の取り組み状況や、児童の机での姿勢など

について質疑が行われました。

建設中の有漢学園では、既存施設と増築部分の接合部を確認したり、木材をふんだんに使用した増築部分の教室を見学しました。委員からは工程の確認や今後の工事内容について質疑がありました。



▲有漢学園の建設現場を視察

第54回岡山市議会 議員研修会が高梁市で開催

8月8日に高梁総合文化会館で、第54回岡山市議会議員研修会が開催され、県下15市より市議会議員が集まりま

した。

研修会では「議員のなり手不足と地方議会改革」と題して東北大学大学院情報科学研究科准教授 河村和徳氏から講演がありました。中でも「議員を減らせ」「議員の報酬は高い」などの声は矛盾する提案でもあると話されました。また、議員定数削減では、当選ラインが上がり立候補しづらくなるなどの問題が指摘されました。

地方分権、地方創生の時代と言われて久しいですが、議員のレベルアップ（議員個々の研修、大学などの専門家との連携）、議会のレベルアップ（多様な意見を聴く議会）が必要であるとの内容でした。市民からの信頼醸成の一丁目一番地として、議会の「見える化」を進めていくことが「議員のなり手不足解消」の第一歩であると思いを新たにした研修会でした。



▲議員研修会の様子

小学生が 議会を見学しました

6月21日に福地小学校の3・4年生、6月24日には松原小学校の6年生が高梁市議会を訪問しました。市議会の仕組みについて説明を受けた後、議場を見学しました。こういった経験の積み重ねが、若者の政治への関心の一步になればと思います。

▼松原小学校の6年生



▲福地小学校の3、4年生



ここを聞きました!



代表質問 新風の会 金尾恭士

「観光施策について」
「学童保育、学校給食センターの民間委託について」



森上昌生

「野良猫対策について」
「新消防庁舎について」
「高梁認定こども園（仮称）について」
「市長の5選について」



小林重樹

「公共交通について」
「行財政改革プランについて」



森 和之

「市の広報について」
「高梁川水系中上流ブロック河川整備計画について」
「子育て施策について」
「学童保育について」
「清水比庵について」
「市街地の町並み整備について」



伊藤泰樹

「高梁市こども計画（仮称）策定に関する調査での若者・子育て世代の声への対応について」
「上水道について」
「地元商工業について」
「空き地荒廃対策について」
「学力・学習状況調査について」



宮田公人

「高梁国際ホテルについて」
「ラ・フォーレ吹屋について」
「縮小社会における行政運営の在り方について」



平松久幸

「（一社）高梁市観光協会について」
「地域イベントの今後について」
「観光振興と地域経済について」
「デジタル化の推進について」



川上博司

「健康増進と医療費抑制について」
「リチウムイオン蓄電池などの小型充電式電池の拠点回収について」
「職員給与について」



石部 誠

「市長の観光協会会長就任について」
「事業の民間委託や施設の指定管理について」
「国保税の引下げについて」



▲備中たかはし松山踊り市議会連

8月16日、県下3大踊りの1つである「備中たかはし松山踊り」団体連踊り競演会に市議会連として参加しました。この日も30度を超える猛暑日でしたが、議員の中には熟練の踊り手もいて、皆で楽しんで踊ることができました。

備中たかはし松山踊りに市議会連で参加しました

7月3日と4日に、コロナ禍で交流を控えていた友好親善都市の茨城県筑西市議会訪問団が来高されました。訪問団は須藤茂市長と稲川新二議長をはじめとした議員10名に、市長部局および議会事務局の職員を含めた総勢15名でした。筑西市と高梁市は、1642年に水谷勝隆公が備中松山城主として入城したのが交流の機縁です。水谷氏は三代にわたり城主を務め、飛地である玉島港の整備や高梁川の高瀬舟による航路開発などを行いました。訪問団の一行は藩主水谷氏の菩提寺である定林寺へ参拝、その後友好親善交流会を開催しました。翌日には備中松山城へ登城し、猫城主さんじゅうろーと触れ合い、山田方谷記念館を訪れるなど市内を視察しました。

筑西市議会との友好親善交流会を開催しました

議員の存在価値は行政のチェック、監督、監視！

金尾 近藤市長の高梁市観光協会会長就任に、市民の多くは疑問を持っている。

市長 新しい観光の流れが必要という認識があり、その先頭として、就任を依頼された。

金尾 DMOを取得してこの約3年間、形成確立計画に沿って、計画が進められたのか。

市長 しっかりと進んでいない面もある。今回、新しいDMOに力を入れていくことにした。

金尾 旅行消費額など過去のデータもほとんどない。データなしでデータ分析などできない。

市長 個々のデータは取っていない例が多い。これからデータを収集していくことになる。

金尾 吹屋が日本遺産に指定されて約3年になる。その評価は産業経済部長 重点期間が外れた

現在でも国の予算を活用できるものもあるので、それを使用して行っている。令和8年度に1回目の評価を受け、評価を受ける。着々と事業を進めている。

新風の会 代表質問 金尾恭士 議員

学童保育と学校給食センターの民間委託について

金尾 民間委託のメリットは、健康福祉部長 慢性的な支援員不足があるが、民間委託で安定的な人材確保が期待できる。

教育長 給食センターも安定的な運営や経費の削減などにより、安全で持続可能な運営ができ、子ども・保護者・市にメリットとなる。

金尾 日本版DBSは、担保されるのか。

健康福祉部長 民間委託をしても、面接でしっかりと人材を見極めていく。日本版DBSについては、今後研究していきたい。

DBS（前歴開示及び前歴者就業制限機構）

子どもと接する仕事に就く人に特定の性犯罪の前科がないか確認する制度。現状の日本の法律・制度では、教育現場で児童に対するわいせつ行為で懲戒免職になったとしても、保育の現場で働くことが可能。教育は文部科学省の管轄であり、保育は厚生労働省の管轄のため、規制が存在しない。



新議長が就任しました

石田芳生前議長の議員辞職に伴い、石井聡美議員が新議長に就任しました。

これに伴い、産業経済委員会の副委員長に新倉淳議員が、議会ICT化推進特別委員会の委員長に平松久幸議員が、



水谷氏を通じた筑西市議会との絆▲

しました。今後も両市の交流を続けていくことを誓い合いました。



議員の任期が満了する10月23日までの短い期間ではありますが、初の女性議長として頑張ります。

石井聡美

副委員長に森上昌生議員が就任しました。全ての任期は10月23日までとなります。

お詫びと訂正

議会だより第59号4ページ目最下段の最後の文末が途中で切れておりました。文章の続きは、「（…賛成多数で可決されました。」です。同じく4ページ目最下段の中央、「真摯」のふりがな（しんし）が誤った位置に表示されております。訂正して、お詫び申し上げます。

野良猫対策と新消防庁舎の 建設工事など



新消防庁舎について

森上 新消防庁舎の工事に関し一度は建築確認が下りた後に、防火区画の仕様変更がされたが、その理由と責任はどこにあるのか。

消防長 経過としては、施工前の協議の中で疑義が生じ、改めて確認したところ、防火区画の必要性が判明した。こうなつた原因は我々には分からない。

森上 責任は明確にすべきではないか。本来必要な仕様なので市に特別の損害はなく、市が本来負担すべきものことだが、それでは当初の落札価格も変わって、落札順位も変わるのではないか。

副市長 責任云々だが、設計も申請もプロなので、当然その段階で気づくべきが、結果として見過ごされたのか、不要の判断をしたか

森上 昌生 議員



は分からないが、法的に定めであれば、当然施工するものと考える。
森上 納得できる説明ではない。本来そういうことを含めて設計はなされるはずだ。



野良猫対策について

森上 支援策を考えているということだが具体的にどのような支援策を考えているか。

市民生活部長 総社市と同様の地域猫にすることができないか、市の環境政策に合致する活動に連携や支援を考えていきたい。

森上 猫飼養のモラル向上を図るために、猫の飼育に関する規制（ルール）を設けてはいかかが。
市民生活部長 他市の状況を見ながら、今後の対応を考えたい。

子育て世代が憩える公園整備を



市街地の公園整備について

森 こどもまんなか宣言をしている高梁市には子育て世代が憩える公園がない。市の考えを問う。

土木部長 市街地への新たな公園整備は、認定こども園整備に伴う跡地利用なども1つの候補として考えていく。財源の確保も重要である。遊具を配した児童公園的なものが良いのか、ニーズを把握して検討していく。

森 新たな公園では、バスケットボールやスケートボードなどが楽しめるのか。

土木部長 議員から提案をいただいている公園機能の充実として、併せて検討していく。
森 新たな公園整備も必要だが、既存の公園も利用者の声に併せて整備するべきではないか。

森 和之 議員



土木部長 既存の公園の定期点検、維持管理修繕に併せて、日陰やベンチの増設、芝生を適地に植栽していくことで既存の公園の充実を図りたいと考えている。

森 子育て世代からは、市街地に公園を整備してほしいといった声を多くいただいている。子育て世代が憩え、高齢者は子どもが遊ぶ姿に元気をいただく、そのような公園整備を強く望んでいる。しっかりとした取り組みを願う。



市の広報について

森 エネルギー代高騰の昨今、身近な節電対策などを広報たかしに掲載するべきではないか。

市民生活部長 身近に取り組める節電対策など、お役立ち情報を広報紙に取り入れることにより、広報に親しんでもらえることになる。今後の広報を考えていきたい。

免許返納者への特典を



公共交通について

小林 外出困難者に対し、公共交通の果たす役割は重要である。現状と課題を整理し、今後どのように取り組んでいくのか。

市民生活部長 現在、新たな高梁市地域公共交通計画を策定するために、専門事業者も加えて協議検討を行っている。また市民の意見をアンケート調査する。

小林 周辺地域の交通体系と市街地の交通体系では違いがあると思う。それに対しての検討はしているのか。

市民生活部長 地域によつて交通体系の違いがあるのは認識している。料金の問題を含め、AIを活用した交通手段の導入やアプリの

小林 重樹 議員



活用によるオンデマンド運行、ライドシェアなどを検討して、周辺地域や市街地における買い物支援、通院などについても考えていきたい。

小林 運転免許証返納者への特典について、市の考えを問う。

市民生活部長 免許返納者への特典については特設持ち合わせていない。京丹後市などの先行事例を参考に、高梁市の場合、どのような制度が効果的であるかということも併せて考えていく。

<参考>
高梁市の
高齢者免許返納者数

令和3年	140人
令和4年	124人
令和5年	124人

(岡山県警察提供)

市への要望には真摯に向き合い 分かる形で回答することが大切



若者・子育て世代の声への対応について

伊藤 母体医療と小児医療の今後のあり方は。

健康福祉部長 分娩、産後のサポート事業や小児医療の相談体制について周知を図っていく。



上水道について

伊藤 4年間で、漏水量が1年間の総配水量に匹敵する現状をどうするのか。

市長 財源を確保しながら老朽管の更新を、1日も早く成し遂げていきたい。



地元商工業について

伊藤 吉備国際大学卒業生の市内就職を進める施策が必要では。
市長 商工団体の方と連携しながら、

伊藤 泰樹 議員



ら、学生への発信の仕方について工夫していく必要がある。



空き地荒廃対策について

伊藤 都市計画区域内だけでも管理不全土地の対策ができないか。
政策監 国の空き地対策の動向を注視しながら、空き地も含めた空き家の流動化対策に取り組む。



学力・学習状況調査について

伊藤 今後、高梁市の教育ではどんな取り組みをしていくのか。
教育長 Society5.0という超高度化した情報の中でも、たくましくしなやかに生きていける子どもを育てる。今はそれが一番大事だろうと考えている。

ラ・フォーレ吹屋 施設再開の目処は？



ラ・フォーレ吹屋について

宮田 吹屋地区を概観するとき、旧吹屋小学校が整備され、宿泊や食事を考えるとき隣接するラ・フォーレ吹屋の位置付けは大きなものがある。運営会社との協議状況はどうなっているのか。

産業経済部長 令和6年6月18日に指定管理者としての取り消し申請書が提出され、すでに指定管理者の権利はなくなっている。

宮田 今後の施設の活用方針についてどのような対応を取るのか。

産業経済部長 ハード面では経年劣化調査を実施する。また、経営状況や運営方法については専門家の知見を活用し、地域の方も交えて調査研究を実施していく。



休館中のラ・フォーレ吹屋

宮田 公人 議員



近藤市長に問う 「高梁市観光協会会長の兼務には問題はないのか！」



高梁市観光協会
会長就任について

平松 高梁市観光協会の会長に市長が就任された。副会長など、他に候補者はいなかったのか。

市長 高梁市観光協会理事会当日、新たに理事として就任したため、経過経緯は他の理事の判断があったのだろうと思う。

平松 補助金を出す首長が、交付を受ける高梁市観光協会の代表になることに問題はないのか。

市長 法的に問題はない。

平松 山形県米沢市の市長が市内観光事業に取り組む団体の長を受けたが「民法第108条」双方代理の禁止また利益相反行為に当たるとして市民から住民監査請求が出されている。今回、高梁市も同様の事例と考えるが、どうか。

平松 久幸 議員



市長 高梁市観光協会会長ではなく、代表権を有する理事が成り代わって契約することにより「民法第108条」は該当しない。米沢市の場合は市長と会長が互いの名前同士であった。

平松 財政規律の観点から、中立公平な立場でコントロールできない危険があり、両方の長が兼任するのは望ましくない。市民が疑問を持つような行為はするべきではない。

市長 私は疑問を感じない。疑問点を明確にしてほしい。

平松 法的に問題はないかもしれないが、組織としてどうかと感じる。トップダウンではない組織を望む。

市長 高梁市観光協会の方針を市の行政に伝えていく。

市長の観光協会会長 就任は問題あり



学童保育など民間委託や
指定管理について

石部 民間委託は、働く方の賃金抑制で町の活力も落ちるなど問題点が大きい。また市直営で、人材育成も含めて行わないと、専門職が育たない。直営で行い、改善すべきではないか。

総務部長 競争原理が働くことでコスト削減が図られることや、民間企業が持つ専門的な知識や技術により、質の高いサービスが提供できる。



議会の承認や
市の監査も行われない
業務委託団体

石部 民間団体である観光協会に市長が就任された。市から補助金が入入されている団体であり、お金を出す側と受け取る側の代表者が同一人物になる。地方自治法や

石部 誠 議員



財政規律の観点からも問題。市の監査も議会の調査も及ばずブラックボックス化する。市と観光協会の癒着と言われてもおかしくない問題が起きると考えるが。

産業経済部長 市長の就任は問題ない。市からの業務委託は約7300万円。就任について執行部に相談はなく個人で判断された。

市長 我々は問題がないとしてやっているので答えようがない。



高すぎる国保税の
引き下げを求める

石部 0歳児など未収入の方の均等割り負担をなくす。基金の活用で国保税の引き下げを求める。

健康福祉部長 国保は県が財政運営の主体であり、独自の減免制度は慎重に検討する必要がある。現在、基金を取り崩して、税率の引き上げを抑制するように努めている。

糖尿病治療中断患者に対して 受診勧奨をすべきだ



医療費抑制のため
糖尿病予防を

川上 透析予防のための糖尿病治療中断者受診勧奨事業の状況は。
市長 糖尿病は国保医療費全体に占める割合が5・3%と高く、重症化させないための予防が重要である。保健師や管理栄養士が訪問して糖尿病治療中断者らに受診勧奨や保健指導を行っている。この活動を地道に続け、食生活の改善や口腔衛生の重要性をさらに広めていきたい。



リチウムイオン蓄電池の
分別回収を

川上 リチウムイオン蓄電池などの小型充電式電池の分別回収を実施すべきではないか。

市民生活部長 発火事故防止とリサイクルを推進する観点から、拠点回収できるよう前向きに取り組んでいきたい。

川上 博司 議員

